

# DAIFUKU

Always an Edge Ahead



グローバル入りしたウインライト社との共同出展 (MODEX 2014・米国アトランタ)

株式会社ダイフク

# BUSINESS REPORT

第98期 報告書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

証券コード

6383

## 受注は過去最高、収益性も大幅改善



代表取締役社長  
北條 正樹

当連結会計年度における世界の経済は、中国をはじめとする新興国の多くで景気減速感が見られたものの、米国経済が緩やかな成長ペースを維持し、欧州経済も底を打ちつつあります。また、わが国経済も、円安・株高の進行などにより、緩やかに持ち直しています。

### Q 平成26年3月期の業績は？

当社グループの業績は、順調に進展し、受注高、売上高、利益のすべての面で前期を上回りました。4カ年中期経営計画「Value Innovation 2017」(平成25年4月～平成29年3月)の最終年度(平成29年3月期)の売上高2,800億円、営業利益率7%という目標に向けて、順調な滑り出しとなりました。

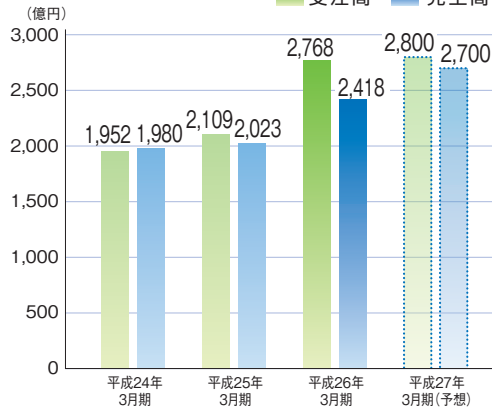
受注面では一般製造業や流通業向けシステムにおける国内の堅調な配送センター建設計画、中国・アジア地域での需要拡大が寄与しました。また、半導体工場向けシステムの設備投資再開、自動車生産ライン向けシステムの北米・中国・アジアでの新設・改造を着実に成果に結びつけました。

売上面では、各業界向けともに、豊富な受注量をベースに順調に推移しました。海外売上高比率は61%となり、中期経営計画の最終年度の目標値60%を超えました。サービス売上高比率も31%に伸び、同じく目標である25%をクリアしています。

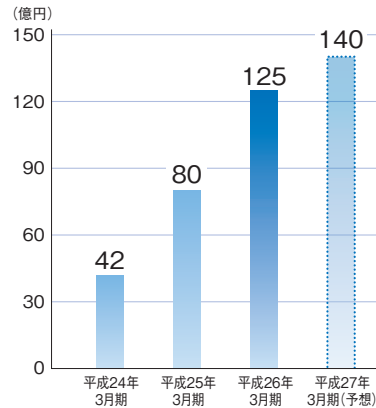
この結果、受注高は過去最高の2,768億31百万円(前期比31.2%増)、売上高も過去最高(2,421億円)に迫る2,418億11百万円(前期比19.5%増)を計上

## 財務ハイライト

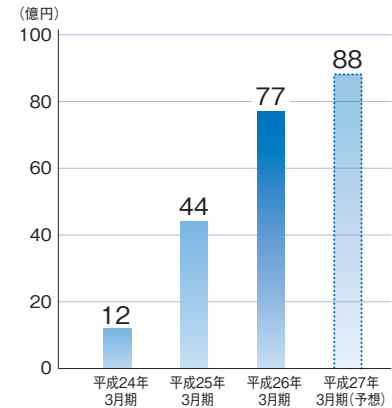
### 受注高・売上高



### 営業利益



### 当期純利益



いたしました。

利益面につきましては、社内構造改革による収益性向上、好調なサービス、コンテックグループおよび海外子会社の業績向上などが寄与しました。また、営業利益は125億56百万円(前期比56.8%増)を、経常利益は131億91百万円(前期比64.9%増)を、当期純利益は77億40百万円(前期比74.4%増)をそれぞれ計上いたしました。

こうした業績などを踏まえ、平成26年3月期の配当を3円増配して年間18円とさせていただきます。平成27年3月期は、年間配当を20円とさせていただく予定です。一方で、国内外の株主の皆さまへの利益還元を公平に行うため、ボウリング場で使用可能な割引金券による株主優待制度は廃止させていただくこととしました。

引き続き、4カ年中期経営計画「Value Innovation 2017」目標達成に向けて、さらなる飛躍を目指します。

## SmartCart

### ここでも活躍ダイフク製品

Daifuku Webb Holding Companyの主力製品のひとつである無人搬送車。多種多様な荷姿・サイズの商品を取り扱う物流センターで、カートをけん引して入出荷



米国最大手百貨店の物流センター

作業を行います。柔軟性・安全性に優れ、複数台のカートを連結しての搬送が可能。待機中は、床に設置された充電器で自動充電します。

## 株式会社ダイフク

## 海外やネット通販向け受注が拡大

受注面では、主力の一般製造業や流通業向けシステムでは、流通、農業、医薬品、食品業界向けなどの大型案件が堅調に推移しました。中国をはじめとする東アジア、タイ、東南アジア向けの受注が伸びました。業種別では、インターネット通販など無店舗販売需要の増加等により、商業および小売業向けが伸びました。

半導体工場向けシステムでは、米国を中心に、設備投資が年度後半から再開されたことが寄与しました。液晶工場向けシステムは、中国政府のテレビ用パネル自給率向上計画に基づく投資等により、後半から持ち直しました。

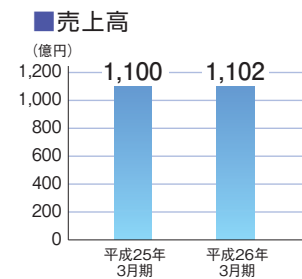
自動車生産ライン向けシステムは、北米およびタイや中国などの新興国向けを中心に、国内のサービス、小規模改造案件も加えて堅調に推移しました。

売上面では各業界向けシステムが堅調に推移しました。洗車機も販売台数が伸びました。

利益面では、一般製造業や流通業界向けシステムのコストダウンのさらなる進展、自動車生産ライン向けシステムの好調なサービス売上などにより、セグメント利益(純利益)は57億61百万円(前年同期比2.8%増)となりました。



中国の日系自動車メーカー生産ライン



◇  
なお、ダイフク、コンテック、Daifuku Webb 以外のその他国内外子会社も好調でした。

特にアジアの子会社の業績が好調で、売上高は641億43百万円(前期比41.4%増)、セグメント利益は29億73百万円(同39.3%増)となりました。

## コンテックグループ

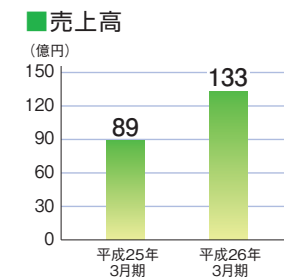
## 産業用パソコン系機器が大幅増益

拡張ボード系機器は、生産設備向けの計測制御用ボードの販売が順調に推移しました。産業用パソコン系機器は、製造業向けに産業用パソコン、非製造業向けでは、病院内の案内表示システム等に組み込むボックスコンピュータの販売が好調でした。また、医療機器へ組み込むコンピュータを開発・販売する、昨年子会社化した米国の Contec DTx Inc. がグループに加わったことにより、売上高が大幅に増加いたしました。ソリューション製品では、太陽光発電計測関連の販売が引き続き堅調に推移したことに加え、医療関連として病院向けソリューションの販売などが寄与しました。



医療業界向け組込コンピュータ

この結果、セグメント利益は7億27百万円(前年同期比327.0%増)となりました。



## Daifuku Webb Holding Company グループ

## 自動車生産ライン向けが好調

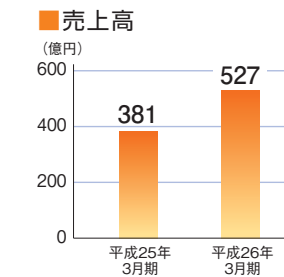
一般製造業や流通業向けシステムは、小規模案件・サービス案件を主体に推移しました。同システムでは、既に共同で大型案件を手掛けた実績のあるウィンライト社(平成25年10月に買収)との協業を進め、大型案件獲得による業容の拡大を図っていきます。

半導体工場向けシステムは、窒素パージストッカーの需要復調などが寄与しました。自動車生産ライン向けシステムの受注・売上は北米自動車業界の活発な設備投資を受け、デトロイトスリー向け、日系向けともに順調に推移しました。

空港手荷物搬送システムは、米国政府の歳出削減などの影響を受けました。

利益面では自動車生産ライン向けシステムがけん引役となって、前年同期より大幅に改善しました。

セグメント利益は16億80百万円(前年同期比199.0%増)となりました。



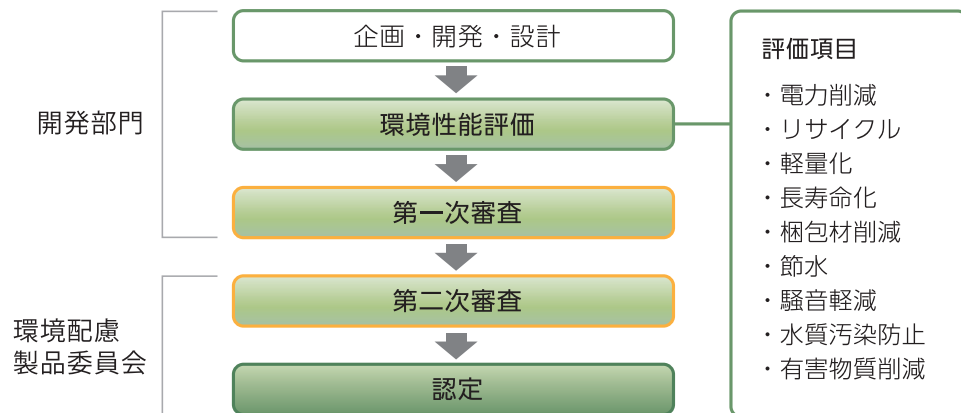


## 厳格な性能評価行う 「ダイフク エコプロダクツ」

### 省エネ・省資源・公害防止の観点で全製品をチェック

ダイフクは、環境問題を経営の重要な要素と認識し、企業活動のあらゆる面で環境への取り組みを強化しています。その一つとして、当社独自の基準により製品の環境性能を評価・認定する「ダイフクエコプロダクツ認定制度」を取り入れ、

現在15製品を認定しています。同制度は平成24年11月に導入しました。当社グループの全製品を対象に、省エネルギー・省資源・公害防止の観点から、9つの項目について厳格な性能評価をパスしたものを選定しています(下図)。



#### ケース自動倉庫「シャトルラック」

電力削減

騒音軽減



ラック各段で軽量台車を用いて荷物を水平搬送するケース自動倉庫。3次元に動くスタックークレーン型と比べ、消費電力を1サイクル当たり約60%削減。騒音を抑えて作業環境の改善にも貢献します。高能力を生かして幅広い分野で活躍しています。

#### 電車搬送式塗装システム「E-DIP」

電力削減

リサイクル



自動車工場の塗装工程向け搬送システム。従来のチェンコンベヤ方式に比べ、槽外への液剤の持出し量を低減し、液剤混入による廃液を削減しました。槽の小型化によりライン長を短縮し、再利用材料の積極的採用によりリサイクル率が向上しました。

#### クリーンルーム用保管システム「クリーンストッカー」

電力削減

リサイクル

軽量化



チリやホコリなどを嫌う、液晶パネルを製造するクリーンルーム向け保管システム。非接触給電システムの給電効率を高め、省エネルギー化を実現。減速時に生じる回生電力の充電機能を取り入れ、消費電力を削減します。

#### 門型洗車機「ユーロス」

電力削減

軽量化

節水

長寿命化



業界最速の85秒/台洗車、レール長を短縮し省スペース化を実現した門型洗車機。標準洗車速度で40ℓ/台の節水機能や消費電力を従来比31%削減。液剤には、環境にやさしい成分を採用しています。



嘉田滋賀県知事より表彰

#### エコオフィス大賞を受賞した環境活動

本年3月、当社の主力生産拠点である滋賀事業所が「平成25年度関西エコオフィス大賞」を受賞しました。同賞は、社員参加型の「DAIFUKU エコアクション」制度、「ダイフク滋賀メガソーラー」の見学ステージの設置、生ゴミの堆肥化と廃食油の燃料化などの取り組みが高く評価されたものです。



琵琶湖ヨシ刈り



ダイフク滋賀メガソーラー見学ステージ

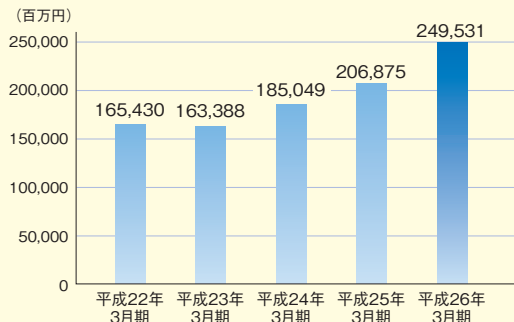


しゃくなげ溪清掃活動

総資産

2,495億31百万円

現金及び預金、受取手形・完成工事未収入金等、  
ウインライト社等の取得に伴うのれんなどが増加しました。



連結貸借対照表

(単位：百万円)

|                    | 当期末<br>(平成26年3月31日) | 前期末<br>(平成25年3月31日) |
|--------------------|---------------------|---------------------|
| <b>資産の部</b>        |                     |                     |
| 流動資産               | 170,781             | 139,831             |
| 固定資産               | 78,749              | 67,044              |
| 有形固定資産             | 34,075              | 31,297              |
| 無形固定資産             | 14,856              | 9,035               |
| 投資その他の資産           | 29,817              | 26,711              |
| <b>資産合計</b>        | <b>249,531</b>      | <b>206,875</b>      |
| <b>負債の部</b>        |                     |                     |
| 流動負債               | 83,711              | 93,998              |
| 固定負債               | 66,129              | 27,191              |
| <b>負債合計</b>        | <b>149,840</b>      | <b>121,190</b>      |
| <b>純資産の部</b>       |                     |                     |
| 株主資本               | 90,652              | 84,486              |
| 資本金                | 8,024               | 8,024               |
| 資本剰余金              | 9,239               | 9,028               |
| 利益剰余金              | 76,009              | 69,859              |
| 自己株式               | △ 2,620             | △ 2,424             |
| <b>その他の包括利益累計額</b> | <b>6,189</b>        | <b>△ 948</b>        |
| その他有価証券評価差額金       | 3,102               | 1,809               |
| 繰延ヘッジ損益            | △ 29                | △ 14                |
| 為替換算調整勘定           | 5,310               | △ 2,743             |
| 退職給付に係る調整累計額       | △ 2,194             | —                   |
| 少数株主持分             | 2,848               | 2,147               |
| <b>純資産合計</b>       | <b>99,690</b>       | <b>85,685</b>       |
| <b>負債純資産合計</b>     | <b>249,531</b>      | <b>206,875</b>      |

連結損益計算書

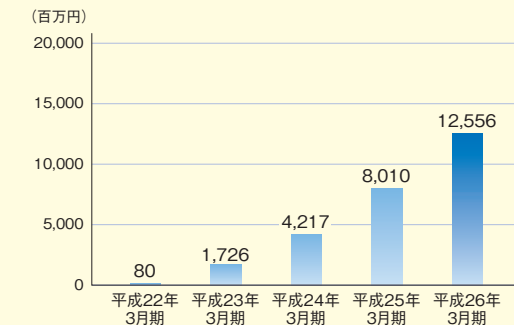
(単位：百万円)

|                       | 当期<br>(自平成25年4月1日<br>至平成26年3月31日) | 前期<br>(自平成24年4月1日<br>至平成25年3月31日) |
|-----------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 売上高                   | 241,811                           | 202,337                           |
| 売上原価                  | 194,974                           | 165,340                           |
| <b>売上総利益</b>          | <b>46,836</b>                     | <b>36,996</b>                     |
| 販売費及び一般管理費            | 34,279                            | 28,986                            |
| <b>営業利益</b>           | <b>12,556</b>                     | <b>8,010</b>                      |
| 営業外収益                 | 1,626                             | 991                               |
| 営業外費用                 | 991                               | 1,003                             |
| <b>経常利益</b>           | <b>13,191</b>                     | <b>7,999</b>                      |
| 特別利益                  | 6                                 | 165                               |
| 特別損失                  | 1,060                             | 847                               |
| <b>税金等調整前当期純利益</b>    | <b>12,137</b>                     | <b>7,316</b>                      |
| 法人税、住民税及び事業税          | 5,634                             | 2,534                             |
| 法人税等調整額               | △ 1,545                           | 254                               |
| 法人税等合計                | 4,088                             | 2,788                             |
| <b>少数株主損益調整前当期純利益</b> | <b>8,048</b>                      | <b>4,528</b>                      |
| 少数株主利益                | 308                               | 88                                |
| <b>当期純利益</b>          | <b>7,740</b>                      | <b>4,439</b>                      |

営業利益

125億56百万円

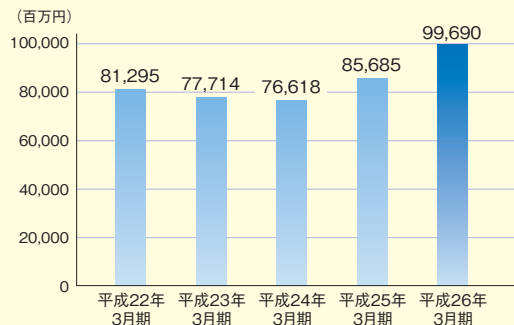
売上高の増大に加え、社内構造改革による  
収益性向上などが奏功しました。



純資産

996億90百万円

その他の包括利益累計額と、利益剰余金が増加  
しました。



連結キャッシュ・フロー計算書

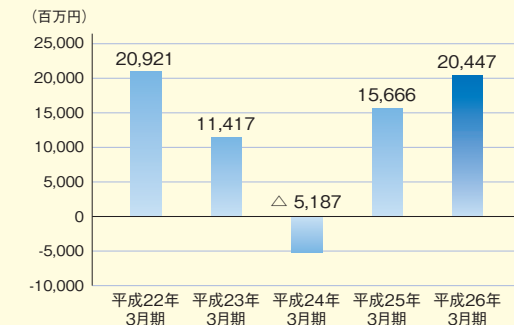
(単位：百万円)

|                                | 当期<br>(自平成25年4月1日<br>至平成26年3月31日) | 前期<br>(自平成24年4月1日<br>至平成25年3月31日) |
|--------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー               | 20,447                            | 15,666                            |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー               | △ 7,372                           | △ 13,649                          |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー               | 1,045                             | 88                                |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額               | 3,201                             | 2,179                             |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)            | 17,320                            | 4,284                             |
| 現金及び現金同等物の期首残高                 | 33,722                            | 29,438                            |
| 連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 808                               | —                                 |
| 現金及び現金同等物の期末残高                 | 51,852                            | 33,722                            |

営業活動によるキャッシュ・フロー

204億47百万円

税金等調整前当期純利益や減価償却費などの  
増加に伴い、キャッシュが増加しました。



## 単元株式数の変更に関するお知らせ

投資家の皆様にとって投資しやすい環境を整え、当社株式の流動性の向上および投資家層の拡大を図るため、平成26年4月より単元株式数の変更を行いました。

**(1)変更内容** 単元株式数を500株から100株に引下げました。

**(2)効力発生日** 平成26年4月1日

この変更に伴い、平成26年4月1日をもって、東京証券取引所における売買単位も、500株から100株に変更されています。

なお、株主各位におかれましては、本件に関するお手続きは一切不要です。

## 第7回「日に新たな館」見学会のご案内

株主の皆様にご理解を一層深めていただけますよう、当社製品を一堂に集めた総合展示場「日に新たな館」(滋賀事業所内)見学会を開催いたします。

**対象者**：平成26年3月31日現在、当社株式500株以上をご所有の株主様  
(同伴者は1名まで可、お子様の同伴は中学生以上とさせていただきます)

**日時**：平成26年10月10日(金) 10:00～16:00

**集合・解散場所**：JR琵琶湖線近江八幡駅、米原駅または直接「日に新たな館」にご来館

**募集人数**：120名 ※同伴者含む  
(ご応募多数の場合は抽選とさせていただきます。抽選結果につきましても、発送をもってかえさせていただきます)

**応募方法**：同封のはがきをご返送ください。

**締切日**：平成26年7月11日(金)(当日消印有効)

**参加費**：無料(集合・解散場所までの往復交通費は各自のご負担とさせていただきます)

**昼食**：日に新たな館にてご用意しております。

お問い合わせ先

株式会社ダイフク IR室 TEL:06-6476-2552

[日に新たな館ホームページ] [www.daifuku.co.jp/hiniaratakan/ja](http://www.daifuku.co.jp/hiniaratakan/ja)

## ダイフク公式チャンネル「D-Tube!」を開設

動画共有サイトのYouTubeに当社の公式チャンネルを開設しました。「会社案内」「製品」「納入事例」などの動画を掲載しています。ぜひお立ち寄りください。



ダイフク公式チャンネル

[www.youtube.com/user/daifukuchannel](http://www.youtube.com/user/daifukuchannel)

会社概要

(平成26年3月31日現在)

商号 株式会社ダイフク  
 創立 昭和12年5月20日  
 資本金 8,024,016,918円  
 代表者 代表取締役社長 北條 正樹  
 従業員数 7,349名(グループ総数)  
 主な事業所  
 本社 〒555-0012 大阪市西淀川区御幣島3-2-11  
 TEL:(06)6472-1261(代)  
 東京本社 〒105-0014 東京都港区芝2-14-5  
 TEL:(03)3456-2231(代)  
 事業所  
 滋賀 〒529-1692 滋賀県蒲生郡日野町中在寺1225  
 TEL:(0748)53-0321(代)  
 小牧 〒485-8653 愛知県小牧市小牧原4-103  
 TEL:(0568)74-1500(代)  
 支店 北海道、東北、新潟、北関東、東京、藤沢、静岡、名古屋、  
 東海、北陸、大阪、中国、九州  
 海外 支店や現地法人を20の国と地域に展開。物流システム  
 関係の生産拠点として中国・台湾・韓国・タイ・インド・  
 米国・カナダ・イギリスにそれぞれ工場を有し、世界最  
 適地生産体制を構築

役員一覧

(平成26年6月30日現在)

|           |                  |
|-----------|------------------|
| 代表取締役社長   | 北條 正樹            |
| 代表取締役副社長  | 小林 史男            |
| 代表取締役副社長  | 猪原 幹夫            |
| 代表取締役副社長  | 田中 章夫            |
| 取締役専務執行役員 | 森本 進一            |
| 取締役専務執行役員 | 井上 修正            |
| 取締役専務執行役員 | 平本 孝規            |
| 取締役専務執行役員 | 岩本 英規            |
| 取締役       | 柏木 昇昭            |
| 取締役       | 小澤 義             |
| 常務執行役員    | 中島 祥行            |
| 常務執行役員    | 佐藤 誠治            |
| 常務執行役員    | 下代 博             |
| 執行役員      | 佐々木 健            |
| 執行役員      | Brian G. Stewart |
| 執行役員      | 井田 彰             |
| 執行役員      | 信田 浩志            |
| 執行役員      | 堀場 義行            |
| 執行役員      | 木村 正二            |
| 執行役員      | 阿武 寛             |
| 執行役員      | 岸田 二彦            |
| 執行役員      | 林 智亮             |
| 執行役員      | 上本 貴也            |
| 監査役(常勤)   | 黒坂 達二郎           |
| 監査役(常勤)   | 木村 義久            |
| 監査役       | 内田 晴康            |
| 監査役       | 北本 功             |
| 監査役       | 鳥井 弘之            |

監査役(常勤) 黒坂 達二郎  
 監査役(常勤) 木村 義久  
 監査役 内田 晴康  
 監査役 北本 功  
 監査役 鳥井 弘之

(注)取締役 柏木 昇、小澤義昭は、社外取締役であります。  
 監査役 内田晴康、北本 功、鳥井弘之は、社外監査役であります。

株主で優待のご案内

当社は、3月末日現在で当社株式を1単元(500株)以上保有の株主様に対し、ポウリング場割引金券を年1回贈呈しておりますので



ぜひご利用ください。お手元のご利用案内または、当社ホームページにご利用方法や使用可能センター一覧を掲載しております。なお、本制度は今年限りとし、現金配当を厚くすることといたしました。

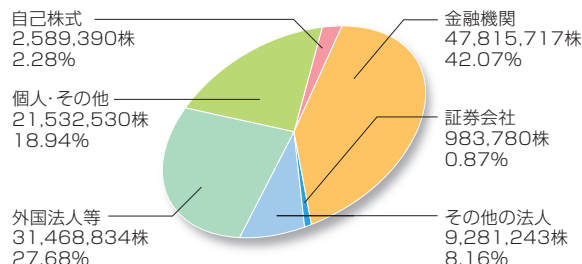


## 株式情報

(平成26年3月31日現在)

|          |              |
|----------|--------------|
| 発行可能株式総数 | 250,000,000株 |
| 発行済株式総数  | 113,671,494株 |
| 株主数      | 9,986名       |

### 所有者別分布状況



## 株主メモ

|        |   |
|--------|---|
| 事業年度   | 毎年4月1日から翌年3月31日まで   |
| 定時株主総会 | 6月開催  |
| 基準日    | 定時株主総会 毎年3月31日<br>期末配当金 毎年3月31日<br>中間配当金 毎年9月30日<br>その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日 |

公告の方法 電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由によって電子公告を行うことができない場合は日本経済新聞に掲載します。  
公告掲載の当社ホームページアドレス  
<http://www.daifuku.co.jp/ir>

|                       |  |
|-----------------------|--|
| 上場証券取引所               | 東京第1部                                  |
| 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号<br>三井住友信託銀行株式会社      |
| 株主名簿管理人事務取扱場所         | 大阪市中央区北浜四丁目5番33号<br>三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 |

## 第98期 期末配当金のお支払いについて

第98期期末配当金は、平成26年5月14日開催の取締役会にて、1株につき13円と決議しております。同封の「配当金領収証」によりお支払いいたしますので、お近くのゆうちょ銀行全国本支店および出張所ならびに郵便局（銀行代理業者）で払渡期間（平成26年6月27日から平成26年7月25日まで）にお受け取りください。

なお、振込先をご指定の方には「配当金計算書」および「お振込先について」を、株式数比例配分方式をご指定の方には「配当金計算書」および「配当金のお受け取り方法について」を同封いたしますので、ご確認くださいませようお願い申し上げます。

また、株式数比例配分方式を選択された場合の配当金のお振込先につきましては、お取引の口座管理機関（証券会社）へお問合せください。

## 配当金計算書について

配当のお支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。「配当金領収証」にて配当金をお受け取りの株主様につきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

なお、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いいたします。

（郵便物送付先\*） 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

（電話照会先\*） ☎ (0120)782-031

\*平成25年1月より郵便物送付先・電話照会先が上記のとおり変更となっております。

（インターネットホームページURL）

<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

### 株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

### 特別口座について

株券電子化前に「ほぶり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といえます。）を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

**DAIFUKU**  
Always an Edge Ahead

### 株式会社ダイフク

本社：〒555-0012 大阪市西淀川区御幣島3-2-11 TEL：(06)6472-1261 (代)

東京本社：〒105-0014 東京都港区芝2-14-5 TEL：(03)3456-2231 (代)

[www.daifuku.co.jp](http://www.daifuku.co.jp)